

特別支援教育だより

ほほ笑み便り

NO. 5



令和4年1月17日
杉並区立八成小学校
校内委員会

3学期がスタートしました。3学期は、新しい1年間の始まりであると同時に、学年の締めくくりの時期でもあります。子供たちは、それぞれ新しい学年を見据えて自分の目標に向けて思いを新たに生活や学習に取り組んでいます。教室は、みんなで学ぶ場所です。「みんなで学ぶ」時に大切なことは何でしょうか。今日は、そのことをみなさんと一緒に考えてみたいと思います。

★みんなが共に学ぶための考え方★

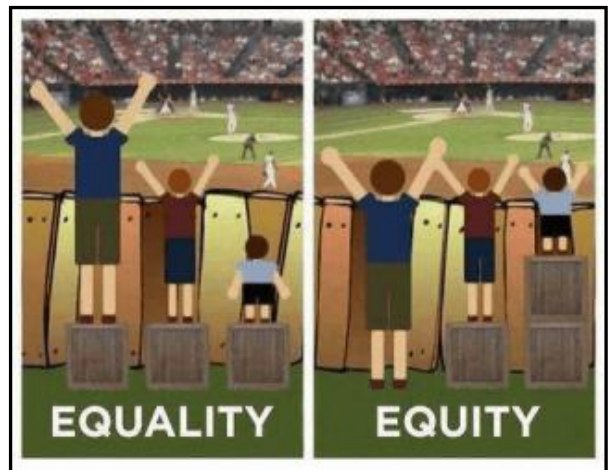
びょうどう こうへい 平等と公平

右側の写真を見てください。平等と公平が一目瞭然に分かるとと思います。これは野球を見ている場面です。立ち見席で試合をよく見るために3つの台が用意されていました。

一人1つ、誰もが同じ台に乗ることができるのが“平等”です。身長差などを考慮し、誰もが見られるように台の配分を調整することが“公平”になります。

“平等”が機能するのは、みんなが同じ条件の時に限られます。絵のような状況では、平等であることが、共に楽しむ場の阻害要因になってしまいます。

学校のように様々な人が来る場所は、みんなが同じ条件ではありません。心身の成長は一人一人違うのです。多様な子どもたちが集まる学校として、公平に学べるような配慮を大切にしていきたいと思います。



びょうどう
平等

こうへい
公平

☆学校のこと、お子さんのことで、何か気がかりなことがございましたら、各学級担任の他、下記の窓口まで、お気軽にご相談ください。

【連絡先】

特別支援教育コーディネーター

川原 未来（音楽専科） 03-3399-3138（学校代表）

河合 香織（はちなり教室） 03-3399-3181（はちなり教室直通）

スクールカウンセラー 【毎週火曜出勤】

浦山 伸悟 03-3399-3160（スクールカウンセラー直通）